

# 第42回研究大会研究発表の募集について

〈メインテーマ〉 会計士が創る躍動の未来～持続可能な社会の構築に挑む～

〈開催日〉 2021年9月17日（金）

〈会場〉 ヒルトン福岡シーホーク  
（福岡市中央区地行浜 2-2-3）

第42回日本公認会計士協会研究大会は、福岡市にて開催される運びとなりました。

今日、持続可能な社会の構築に向けた取組が急速に広がりつつあります。国際的には、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」における成果文書として、「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、2030年を期限とする17の目標と169のターゲットが掲げられたことが始まりかと思えます。

これを受け、国際会計士連盟（IFAC）においては、目標達成に向けて職業会計士が重要な役割を担えると思われる8つの目標を示し、SDGsの貢献に向けた取組が行われています。日本においても、政府は「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を設置し、日本経済団体連合会（経団連）はSociety 5.0の実現を通じたSDGsの達成を柱として「企業行動憲章」を改定するなど、官民挙げてSDGsを踏まえた取組が進められています。また、他国に比しても急速に進む人口減少や少子高齢化、自然災害、インフラの老朽化等、日本が対処すべき社会的課題が議論されており、これらの課題に対する取組も重要となっています。

公認会計士並びに日本公認会計士協会は、法律上・会則上に定められた職責を果たしつつ、「持続・発展可能な社会を共に築くプロフェッショナルパートナー」として、高度に複雑化・専門化した課題に対して多面的な観点から最適化を目指す問題解決能力と高い倫理観の発揮が期待されています。また、今日においては新型コロナウイルス感染症の拡大により社会全体が甚大な影響を受けており、新しい生活様式、新常态での生活、企業行動が求められています。しかし、このような環境下にあっても、持続可能な社会システム、資本市場を維持・発展させていくために公認会計士ができること、なすべきことは多岐にわたると考えています。このような背景から、本研究大会においては、公認会計士が新たな価値を創造するイノベーションの主要な役割を担い、他の業界や団体との一層の連携を図り、積極的に社会に対してソリューションを提示し、さらには日本独自の価値観を世界に発信していくための取組について深く議論したいと考えています。

当地、北部九州は自動車産業のほかIT・ソフトウェア産業も盛んであり、官民挙げたスタートアップ等の企業育成に特に注力している地域であります。またアジアの玄関口で観光の見どころも多く、特に福岡市は国家戦略特別地域に指定され、近年の人口の増加率は全政令指定都市の中でもトップクラスとなっており、SDGsに向けた産学官の活動や提言も活発になされています。

第42回日本公認会計士協会研究大会福岡大会2021のテーマは「会計士が創る躍動の未来～持続可能な社会の構築に挑む～」です。2021年9月17日（金）に令和ゆかりの地であり、衣食住の最適ミックスの地でもある福岡で皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

## 研究発表募集要領

### 1. 応募資格

会員・準会員及び一般有志

### 2. 募集テーマ

原則として、メインテーマ「**会計士が創る躍動の未来～持続可能な社会の構築に挑む～**」に関連するテーマとします。

### 3. 募集内容

#### (1) テーマ及び発表者(パネリスト)の募集

##### ① 研究論文による発表

日頃の研究内容を論文にまとめて、研究大会当日、発表していただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおり論文を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- ・ A4判10頁以内(目次、図表等全てを含みます)
- ・ 1頁の設定 40字38行(フォントサイズは本文11ポイント)

※なお、研究論文については会員からの推薦も選考の対象とします。応募の際は、推薦する研究論文(テーマ)及び発表方法に発表者の住所・氏名・職業・電話番号、発表者の同意を得ている旨を明記の上、お送りください。

##### ② パネルディスカッション形式による発表

研究内容をスライド資料としてご用意いただき、研究大会当日、その内容についてパネリスト間でディスカッションを行っていただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおりパネルディスカッションの企画書(テーマ・発表の趣旨、目的・内容の概要・パネルディスカッション形式とした理由・パネリストの略歴を記載)を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- ・ A4判の5頁程度

※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料(MS PowerPointソフトウェア利用)を後日ご提出いただきます。

- ・ 人数はパネリスト及びコーディネーター含め5名以内(厳守)

#### (2) テーマの募集

##### ～フリーディスカッション形式による発表

公認会計士制度、業務に関係し、日頃関心を持っている内容で大会参加者と意見交換してみたいと考えるテーマについてのご提案を募集します。ご応募いただく際は、テーマ(例えば「公認会計士制度のあり方」など)及びテーマ選定の趣旨、目的を作成いただき、発表者として希望する者のリストを添えてお送りください。

継続的専門研修制度協議会において、テーマに合ったコーディネーター等発表者を選定します。

※ご応募いただく際は、発表テーマ及び発表方法を明記の上、住所・氏名・職業・電話番号を記載の上、ご応募ください。

#### 4. 応募及び推薦締切日

2021年2月26日(金)(必着)

#### 5. 選考

継続的専門研修制度協議会において、研究発表のテーマとしてふさわしいか否かを基準として審査・決定します。

また、発表方法(研究論文、パネルディスカッション形式、フリーディスカッション形式)が偏らないように考慮し選考いたします。

ご送付された原稿等は返却いたしませんのでご注意ください。

#### 6. 発表予定テーマ数

今大会(第42回研究大会)では、10テーマの発表を予定しており、うち2テーマは、研究大会開催地域会である北部九州会に割り当てる予定です。

また、学術賞受賞作品の中で研究発表テーマとしてふさわしいものがあれば、10テーマの中にも含むことも検討します。

#### 7. 研究発表の決定

2021年4月末を目処に、応募された方に選考結果をご連絡します。

なお、選考経緯等は公表しませんので、あらかじめご了承の上ご応募ください。

#### 8. 送付先及び問合せ先

〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1  
日本公認会計士協会 総務本部研修グループ  
TEL : 03-3515-1126(直通)  
E-Mail kenshuu@sec.jicpa.or.jp

(企画運営)継続的専門研修制度協議会・北部九州会研究大会実行委員会

## ＜参考＞前回の研究発表テーマ一覧（第41回研究大会）

### 【研究発表①】

テーマ1	【論文発表】 東証「改善報告書」をもとに会計監査人、監査役、内部監査人がなすべきことを考える
テーマ2	【パネルディスカッション】 AI等のテクノロジーの進化が公認会計士業務に及ぼす影響の研究成果（中間報告）
テーマ3	【パネルディスカッション】 事業承継税制の出口戦略にかかわる公認会計士の役割～環境変化に対応可能なゴーイングコンサーンのサポート役として～
テーマ4	【パネルディスカッション】 企業情報開示に関する有用性と信頼性向上に向けた論点（中間報告）～開示とガバナンスの連動による持続的価値創造サイクル実現に向けて～

### 【研究発表②】

テーマ1	【パネルディスカッション】 KAM適用にあたって監査役等と会計監査人との連携と課題～新しい制度を円滑に導入するために～
テーマ2	【フリーディスカッション】 変わりゆく公認会計士の期待と役割～企業等所属会計士（組織内会計士・社外役員）と会計監査人との連携で、企業や社会に貢献しよう～
テーマ3	【論文発表】 会社法上の時価と租税法上の時価を争点とするケーススタディ
テーマ4	【パネルディスカッション】 非営利組織における会計基準の共通化の可能性について～「非営利組織における財務報告の検討」の概要及び今後の展開～